

(様式1)

平成30年度

# 学校パワーアップ全体構想

荒川区立第七中学校

## 〔学校パワーアップのための基本方針（重点項目は◎）〕

「連携と創造」に基づき、家庭・地域・諸機関・学校が一体となった教育活動の推進し知・徳・体 調和のとれた生徒の育成を行う。

- ◎ 教員の指導力を向上させ、学力の向上を目指す。
- ◎ 荒川区学校教育推進ビジョンを基礎として、教育委員会と連携を深めて、効果的な教育活動を進めて学習成果を上げる。
- 新しい学習指導要領にそった教育課程を実施することで、「主体的・対話的（協働的）で深い学び」推進する。



## 〔学校パワーアップ事業の各事業内容〕

### 〔学力向上マニフェスト〕

- 教師が育つ学校をつくる
- ① 全教員に研究授業を実施させ、教育実践・研究を積んでいる大学教授級講師から指導を受け、指導力の向上を目指す。
- ② 若手教員の育成を進め、指導力の向上を目指す。
- ③ 日々の授業を充実させ、学力を向上させる。
- 夢につながる主体的な学びを推進する
- ① 英語教育重点校としての役割を果たすために、NEAの活用を推進する。
- ② 伝統文化を学び、国際理解教育、グローバル教育の基礎を創る。
- ③ 学習内容や定着度を確認するため、家庭学習を充実させるための教材を作成し、学力の向上を図る。

### 〔創造力あふれる教育の推進〕

- 学校・家庭・地域でスクラムを組んで子どもたちを育てる。
- 地域の教育力を導入して多様な視点で生徒を評価してよさを見つけ育成する。
- 体験的な学習活動を通して、よりよい未来社会を築く。
- ① TGGを体験させ、個人の英語力の到達度を確認し、今後の学習活動に生かす。
- ② 和楽器演奏者を導入して音楽の授業を充実させる。
- 良好な教育環境と体制を整える。
- 代表行事合唱コンクールを声楽家の指導を受け、ホールを使って演奏させる。
- 心とからだの健全な育成を図る
- 生徒の現状を把握し、学級指導の方策の検討をする。

### 〔未来を拓く子どもの育成〕

- 教育環境の整備
- ボランティア教育を進めながら、草木・球根を育て、教育環境を整え、落ち着いた学校生活を継続させる。
- 体力・技能の向上
- 体力・技能の向上に努め大会やコンクールで、昨年度以上の成果を目指す。
- グローバル感覚・ICTリテラシー等の推進
- ① 予測できない社会の変化の中で生き抜く生徒の育成のために、社会の現状を知らせる。
- ② タブレットパソコンを使用する中で、ICTリテラシーの向上を図る。

### あらかわ寺子屋

主として補充的な学習をベーシックドリル・プリント学習を中心に進める。